

JP125 経島

島根県：出雲市

位置 N 35° 26′ E 132° 38′

面積 1ha

環境構成【島嶼】

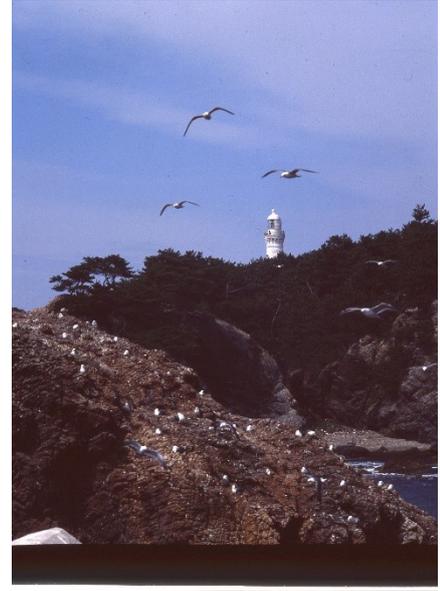
日御碕神社西側の沖 100mにある約 3,000 m²の小島。「経巻」を積み重ねたような形状の柱状節理の石英角斑岩からなり、植生はほとんど見られない。

選定理由

A4i

ウミネコ

写真提供：佐藤仁志



保護指定

サイトの全域（90%以上）に法的な担保がある

<保護指定の内容>

国立公園（大山隠岐）

<その他>

国指定天然記念物経島ウミネコ繁殖地

保全への脅威

日御碕神社の神域であり、渡航を禁じられていることなどから人による脅威はないが、餌資源の豊凶、気象変化、タカ類やカラス類による被害などにより繁殖率に年変動あり。

鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・ IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化
変わらない
- ・ IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：有
<調査データの入手方法>
出雲市教育委員会
- ・ IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化：
変化はない
- ・ IBA 選定基準種の生息環境：
良好（全域、もしくは 90%以上が最適の状態）

- ・ IBA エリアの保全管理計画の有無：有

保全活動

- ・ モニタリング調査：実施者（出雲市教育委員会）
内容：繁殖状況調査を毎年実施

見られる鳥

ウミネコは 10 月下旬から 7 月にかけて約 5,000 羽が飛来し、経島やその周辺で繁殖する。岩礁部でクロサギが見られるほか、対岸の林地周辺ではイソヒヨドリ、コゲラ、メジロ、カワラヒワなどの留鳥が多く見られる。渡り期には、日御碕地区一帯でヤツガシラが数羽定期的に出現する。島根半島の西端部にあることから、渡りの時期には多くの野鳥が付近を通過している。

確認種	ウミネコ(10 月下旬～7月) 留鳥:クロサギ、イソヒヨドリ
旅鳥	ヤツガシラほか多数

*経島の周辺海域は、マリーン IBA (Marine Important Bird and Biodiversity Areas : 海鳥の重要生息地) に選定されている

詳しくはこちら <http://www.wbsj.org/activity/conservation/habitat-conservation/miba/>



0 0.1 0.2 0.4 キロメートル

Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GecBase, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community